

2022年1月11日

各位

会社名 マーチャント・バンカーズ株式会社
代表取締役社長兼CEO 小貫英樹
(コード3121 東証2部)
問合せ先 代表取締役副社長 CFO 兼財務経理部長 高崎正年
(TEL 03-6434-5540)

株式会社アビスジャパンとの業務提携による太陽光発電事業の取組み開始に関するお知らせ

当社は、株式会社アビスジャパンと業務提携し、太陽光発電事業への取組みを開始することを決定いたしましたので、お知らせいたします。

株式会社アビスジャパンは、生活協同組合と提携した個人居宅のリフォーム工事や、店舗や病院・介護施設の内外装工事を柱に、工事会社として業容を拡大してまいりましたが、今般、さらなる業容拡大のため、メガソーラー発電を含み、年間60件以上の太陽光発電所の工事を手掛けてきた建設会社から事業を譲り受けることにより、太陽光発電工事に進出しました。

株式会社アビスジャパンは、昨年9月から、すでに10件の太陽光発電工事を受注いたしました。

当社は、都市部の賃貸用マンションから得られる安定的な家賃収入により、強固で安定的な収益基盤を構築してまいりましたが、太陽光発電事業で、各電力会社からの安定的な売電収入を確保することにより、収益基盤の強化に取り組んでまいります。

また、太陽光発電事業の社会性にも注目しており、2020年10月、政府は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、「カーボンニュートラル」を目指すことを宣言しました。「カーボンニュートラル」とは、地球規模の課題である気候変動問題の解決に向け、温室効果ガスの「排出量」から、植林、森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにするもので、脱炭素社会の実現に向けた全世界的な取組みとして、安定的で低コストで電力を供給できる太陽光発電は、ますます需要が高まるものと考えています。

当社は、すでに候補用地の提案も集まっており、当社で太陽光発電事業に適した用地を取得し、株式会社アビスジャパンと業務提携し、同社に工事を委託することにより、納期の短縮と工事費用を節減し、収益性が高く、各電力会社からの安定的な売電収入により安定的な収益の期待できる太陽光発電事業に取り組んでまいります。

以上